



No.49  
2022.9



## ご挨拶

島根県PTA連合会  
会長 安部 慎

令和4年度の島根県PTA連合会会長をさせていただきます、安部 慎と申します。よろしくお願いいたします。  
平素は県PTA連合会の活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

今年度のスローガンは「はぐくもう 子どもたちの未来を」です。すべての子どもが安心して学べる教育環境を創るため、家庭・学校・地域の連携・協働の充実を図るとともに、会員一人ひとりの意思を尊重し、今できることを考え行動できるPTA活動を実践していこうという方針です。

しかしながら、8月に予定していた研修大会大田大会は県内の新型コロナウイルス感染者数の急速な拡大により、非常に残念ながら中止とさせていただきます。会員の方の学びの場をご提供できず、大変申し訳なく思っています。状況の変化に対応できる開催を今後の課題としたいと思います。

さて、皆様が日ごろ行っているPTA活動において、その目的や効果、組織の必然性に疑問を持たれる機会もあるかもしれません。PTA活動は、必ずしも成果がすぐに表れるものばかりではありません。活動を通じて家庭・学校・地域がつながり、子どもの健やかな成長を促していくものです。これからの社会を担っていく子どもたちを立派な大人に育てていくことは、社会に貢献できる活動なのではないでしょうか？

PTA活動の中心は、各小・中学校の単位PTAです。子どもたちを中心とした活動を通じて、周りの「大人」たちもより良いコミュニケーション・信頼関係を築けることが大切だと思います。周りの大人たちがいがみ合い、罵り合うような関係性では子どもたちに悪影響しかありません。良質なコミュニケーションをとりあっていきましょう。また、PTA活動は我々大人たちの「学びの場」でもあります。様々な活動や研修会などを通じて自分自身も成長できると私自身も実感しています。

コロナ禍で数年が経過し、様々な環境や行動が変化し、改革されてきました。PTA活動も形態を変化させて対応されてきたことと思います。これを機にPTA活動を見直し、よりスマートに誰もが参加しやすいものへと変革できるチャンスだと捉えています。ただ、今はできないが継続して行いたい活動内容もたくさんあると思います。ぜひ、継続できるよう前向きにご検討いただき、より活発なPTA活動を期待します。

それぞれのPTA活動を支えるべく、市郡PTA連合会、県PTA連合会があり、さらに日本PTA全国協議会もあります。会員の皆様の活動がより良いものになるよう、様々なかたちで支援していきたいと思っております。

# 研修大会の企画を通して考えたこと

## ～子どもたちを第一に!～

大田市PTA連合会 会長 景山 浩充



本年度がスタートした4月は新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いており「やるからには大成功を!」という思いの中、本腰を入れた企画・準備が始まりました。大会に関する内容が徐々に固まっていき、6月の県P連新・旧役員会、委員総会、事務局局長会にて開催についての議決がなされました。

大会実行委員会では、親野智可等氏による講演『激動の時代に生きる子どもたちに、いま何が必要か～目から鱗の子育てとコロナ禍における家庭教育～』をはじめ、大田小PTA、大森小PTAの皆様による実践発表など、家庭での学習時間を有意義に過ごすために家庭と学校が連携を図り、どのように学ぶ教育環境を創り、親子で家庭学習の充実を図っていくことが実現できるのかなどのヒントが得られる研修大会にしよう準備してきました。

しかし、7月からの新型コロナウイルスの驚異的な感染拡大により、開催が危ぶまれる事態になりました。急遽、開催の可否決定をする会議を開き、安全な開催が困難と判断し、断腸の思いで開催中止の決断をしました。

4月の段階では実行委員長として、このような結末は思い描いておりませんでした。開催中止の決断をした当初は、「ご協力していただいた皆様や関係者の皆様に申し訳ない」という思い

でいっぱいでした。しかし、研修もPTA活動であり、子どもたちのために開催するものであるなら、子どもたちに対して「君たちのお父さんやお母さんから研修の機会を奪ってごめんね」という思いを抱くべきだったのでしょうか。まず子どもたちの顔が思い浮かぶ、そんな実行委員長でありたかったです。開催中止の決断をすることで研修大会、PTA活動のあり方について今一度考えさせられました。

今後もコロナ禍が続くことが予想されます。大田大会の開催はかないませんでしたが、子どもたちのために、コロナ禍での家庭教育のあり方について、PTAの皆様と一緒に考えていきたいと思えます。そして、今後の研修大会、またそこに注ぐPTAの力が、子どもたちの健全育成の貢献につながることを願っています。

末筆になりますが、本大会に向け島根県教育委員会、大田市、大田市教育委員会様にはご後援、ご協力をいただき大変ありがとうございました。また、本大会実施に向けて関わってくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

# 日本PTA全国研究大会山形大会に参加して

雲南市PTA連合会 会長 田中 周



この度は、第70回日本PTA全国研究大会山形大会に参加させていただきありがとうございました。大変貴重な経験をさせていただきました。

この大会は「人と人のつながりを体感しよう!」～あがらっしゃい精神の山形から～のスローガンのもと、8月26日(金)、27日(土)の二日間で開催され、全国から約6,500人のPTA関係者が集いました。

26日には10分科会と2つの特別分科会があり、山形県内12ヶ所に分かれ開催され、私は特別第2分科会に参加しました。この分科会の研究課題は、「メディア・リテラシー育成における学校教育と家庭教育の役割」でした。基調講演では信州大学教育学部准教授 佐藤和紀氏により、「GIGAスクール構想で育むメディア・リテラシー」と題して講演をしていただきました。

講演の中で、1957年にイギリスで作製された、スパゲッティが木で育つ動画を見せられました。この動画は、エイプリルフール

に放送されたものですが、当時のイギリスでは、本当に信じられた方がおられ、放送局に問い合わせがあったそうです。このことから人は容易にメディアに操作されることがわかりました。

現代でもさまざまな情報が、いろんな媒体で流されていますが、情報の真意が正確に伝わっているのかが重要であると思いました。

私たちの知識のほとんどが、自分の体験したことから得られる事が多く、経験値の少ない子供たちは情報の読解がまだできない場合があります。親としても、子供達と共に正しい情報と向き合っていかなければならないと感じました。

また、GIGAスクールにおける一人一端末での学びでは、以前から行われていた一斉指導とことなり、各個人で課題を見つける事ができ、振り返りが出来るようになってきています。そのため「情報活用能力」が重要視されているという話もされました。

親世代では経験したことのない学びが展開されているところですが、新しいことを知ることで不安が解消されると気付かされました。



## ふれあう事で多くを学ぶ6年間

コロナ禍が猛威をふるい早3年目となりました。

全ての行事が中止となり行動が抑えられ普段のあたり前の生活を蝕むだけでなく、子供達の人生でたった6年間しかない小学校生活も襲っています。この6年間は子供達が将来に向け多くの事を学ぶ大切な時期ですがコロナの終息は見えません。福井小学校は、日本海に浮かぶ隠岐の島諸島の有人島の一つ海士町にあり、人口約2,300人の一島一町の自治体にあります。過疎の時代と言う中、海士町は地元の島民だけでなく、全国各地からIターン者が移住して町がうたう「ないものはない」の精神で、島は年中活発で、10年以上前から人口減少に歯止めをかける程です。こんな活発な我が町も、コロナ禍により活気に陰りが出た中、2年前、福井小学校区運動会が中止と決まりました。しかし当時のPTA会長が「PTA主催でやろう」と声を上げ、熱い想いは広まり初めて福井小PTA主催で開催。去年は学校主催、今年度秋は学校とPTAの主催で開催予定です。福井小PTA活動では、夏休み前の恒例行

島前PTA連合会 会長 吉田 公三



事アカテガニ祭りを開催しています。

夏の晩の小祭りですが、各学年で催し物を考え、作り準備する。当日は、保護者が店番をし、子供達は縦て割り6班に分かれ、順番に全ての学年の催し物に参加していくお祭りです。提案から準備、開催、全て子供達が行うので喜びも倍のようです。子供達からは、「アカテガニ祭り2回やればいいのに」と声を頂く程です。小学校6年間で子供達は、たくさんのお会い、出来事から経験し、たくさんふれあうことで多くの大切な事を学びます。

コロナ禍により、中止、延期があたり前となった今ですが、私達PTAは子供達の今という大切な時間を止める事に賛成はできません。

福井小学校PTAは、これからもやるか止めるかを考えるのではなく、どうしたらやれるかを考え、子供達のふれあう時間を守りたいです。

## 出会いと繋がり、感謝を紡ぐPTA活動

管理職となってからは、直接PTA役員の皆さんとやりとりすることが増え、勤務するどこの学校でも、心強さとありがたさを実感してきました。

現任校である湖南中学校でも、会長さんへの報告事項や相談事では、子どもたちと教職員に視点を置き、「わかりました。大丈夫ですよ。」「いいですよ。そうしていきましょう。」「と、常に学校運営の背中を押していただいています。

県内の全ての小中学校で、こうした日々のやりとりが行われ、その年々のPTA活動や学校の教育活動が進められていることでしょう。とりわけ、「新学習指導要領」で求められる「社会に開かれた教育課程」を進めていく上で、PTAの役割は重要なものとなっています。また、「学校運営協議会」の設置が各市町の小中学校で進んでいます。ここでもPTA役員の皆さんの参加を得ながら、「地域と共にある学校づくり」を見通しがもたにくくこれからの社会の変化を受け止め、具体的に進めているところです。

こうした中、3年目となるコロナ禍の状況です。PTA活動も様々な制約の中で縮小したり、削減したりせざるを得ませんでした。

島根県中学校長会 会長 奈良井 孝



しかし、そんな中でも少しずつ、地域の特色や学校の特色を生かして、知恵と工夫で新たな活動の形に挑戦している学校も増えています。歩みを止めないPTA活動のあり方を、学校と共に、そして各校の保護者の皆さんと共に紡ぎ出す各校PTA組織の力は、コロナ禍に負けない「学校力」を支える大切なものであることは、これからも変わりません。

多くの学校が毎年変わる役員組織での運営で、コロナ禍以前の活動を引き継ぎにくくなっていると思います。それでも、過去の活動にこだわることなく、未来を見据えて、教職員と保護者が新たな出会いの中で繋がり、ふるさと島根の子どもたちへのまなざしを共有しながら、これからのPTA活動が進められていくことでしょう。

そして活動に携わる者がそれぞれの立場で抱く感謝の思いがバトンとなって、県内各校各地域の特色ある活動が紡がれていくことを願っています。

## 表彰おめでとうございます。

長年にわたってご尽力いただきありがとうございました。

本年度、県P連表彰を受けられましたPTA団体並びに個人の皆様をご紹介します。



**団体表彰の部** 松江市立八雲小学校PTA  
大田市立長久小学校PTA

**個人表彰の部** 佐々木 功 江津市立江東中学校PTA 山田 裕之 出雲市立河南中学校PTA  
楠 寛 津和野町立津和野小学校PTA 柳井 直樹 益田市立横田中学校PTA  
原 完次 松江市立第一中学校PTA 田原 俊輔 益田市立西益田小学校PTA  
長谷川修二 松江市立宍道中学校PTA 内田 浩史 浜田市立第四中学校PTA (敬称略)

# 第44回(令和4年度)全国小・中学校PTA広報紙コンクール

## 第1次審査(鳥根県審査)結果について

### 審査結果(鳥根県審査) 入賞作品(10点)

最優秀賞	松江市立八雲中学校PTA	「星雲」	優良賞	出雲市立大津小学校PTA	「ふれあいおおつ」
優秀賞	安来市立十神小学校PTA	「学鐘」	優良賞	出雲市立今市小学校PTA	「ウキウキ発信」
優秀賞	安来市立第一中学校PTA	「清流」	優良賞	松江市立湖南中学校PTA	「ひろばこなん」
優良賞	松江市立八雲小学校PTA	「まゆみ」	優良賞	江津市立青陵中学校PTA	「青陵かわらばん」
優良賞	松江市立乃木小学校PTA	「のぎっこ通信」	優良賞	江津市立津宮小学校PTA	「つのみや」

## 令和4年度 鳥根県PTA連合会役員

(敬称略)

会 長	安 部 慎	安来市PTA連合会所属	令和4年度～	理 事	三 原 宏 之	飯石郡PTA連合会	会 長
副 会 長	景 山 浩 充	大田市PTA連合会	会長、大田地区代表	理 事	田 邊 訓 昭	仁多郡PTA連合会	会 長
副 会 長	吉 田 公 三	鳥前PTA連合会	会長、松江地区代表	理 事	小早川 大 輔	出雲市PTA連合会	会 長
副 会 長	田 中 周	雲南市PTA連合会	会長、出雲地区代表	理 事	益子原 健	江津市PTA連合会	会 長
副 会 長	大 谷 海	浜田市PTA連合会	会長、益田地区代表	理 事	旭 林 修 範	邑智郡PTA連合会	会 長
副 会 長	越 野 和 胤	鳥根県小学校長会	小学校長会長	理 事	竹 林 奈 保	益田市PTA連合会	会 長
副 会 長	奈良井 孝	鳥根県中学校長会	中学校長会長	理 事	田 中 海 太郎	鹿足郡PTA連合会	会 長
理 事	山 本 俊	鳥後PTA連合会	会 長	監 事	中 村 美 帆	松江市PTA連合会	前年度副会長
理 事	前 田 剛 司	安来市PTA連合会	会 長	監 事	門 脇 岳 彦	前鳥根県中学校長会長	前年度副会長
理 事	石 川 芳 廣	松江市PTA連合会	会 長				

そばにいられない時だって、親にはできることがある

2022年7月現在の  
内容です

## 鳥根県PTA連合会 小・中学生総合保障制度

(こども総合保険)

総合保障制度は登下校中だけでなく日常生活での自転車事故によるお子さまのおケガや  
第三者への法律上の損害賠償責任も補償します！

### ★新型コロナウイルス感染症に対応!!

ご加入プランによって補償項目が異なります。詳しくは  
パンフレット及び加入者証をご確認ください。



### ★学校貸与の端末を誤って壊して、法律上の 損害賠償責任が生じたときも補償!!

<個人賠償責任補償(受託品賠償責任補償)>



### 学校管理下動産補償、熱中症補償は全てのプラン にセットされています!

※学校管理下動産とは、学校の授業・登下校中などにお子さまが携行  
している身の回り品のことです。

### デジタル保険金請求

オンラインで簡単に保険金請求!

必要書類はメールで送付!

原則3営業日以内に保険金をお支払いします!

- デジタル保険金支払いの対象となる事故
- ・ケガによる入院/通院
- ・持ち物の損害(学校管理下動産補償特約)

※ご利用条件とご利用方法は加入者証でご案内します。

※詳しくは鳥根県PTA連合会小・中学生総合保障制度のパンフレット・  
補償概要等をご覧になるか引受保険会社までお問い合わせください。

【引受幹事保険会社】A I G 損害保険株式会社 山陰支店  
松江市伊勢宮町 519-1 松江大同生命ビル 6F  
Tel(0852)26-2781 Fax(0852)26-2776

S-220589 有効期限:2023年9月



編集/発行 鳥根県PTA連合会 事務局/松江市黒田町538 TEL0852-27-5803 FAX0852-26-7710  
E-mail:simapren@ms1.megaegg.ne.jp https://www.shimane-pta.jp 鳥根県PTA連合会 検索